

科目名 ナンバリングコード	こころの生涯発達 NUS1171MN1	必修科目	1年次 2学期	講義・演習	1単位
科目責任者	医学部看護学科 准教授 舞弓 京子				
科目担当者	医学部看護学科 福浦 善友、松島 亜希子				
教育目標 到達目標	<p>教育目標 生涯にわたるこころの発達に関わる理論を学習し、こころの健康と健康障害について理解する。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ライフサイクル各期のこころの発達課題・発達危機・人格的活力について説明できる。 2) 精神の健康の概念について説明できる。 3) 精神障害について、医学モデル・精神分析モデル・危機モデルを用いて説明できる 4) 諸外国・日本における精神医療の歴史について理解する。 5) 精神・心身の健康障害と人間の反応について説明できる。 6) 回復（リカバリー）に必要な要因を述べることができる。 7) 現代社会におけるこころの問題の現状について調査し、対策について考察できる。 8) 精神保健医療福祉制度を理解し、多様な場におけるメンタルヘルスクアを理解する。 				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習（予習・復習等）	必要時間	
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回 第8回 第9・10回 第11回 第12回 第13・14回 第15回	周産期の問題と乳児期のこころの発達 幼児期のこころの発達 学童期のこころの発達 思春期・青年期のこころの発達 成人前期・中期のこころの発達 成熟期・老年期のこころの発達 精神保健医療福祉の歴史の変遷 こころの機能(医学モデル・精神分析モデル) こころの健康と障害 危機介入 特別講義 社会問題を読み解く 精神科における退院支援・リカバリー	舞弓【講義】 舞弓【講義】 舞弓【講義】 舞弓【講義】 舞弓【講義】 舞弓【講義】 福浦【講義】 舞弓【講義】 舞弓【演習】 特別講義講師【講義】 舞弓・福浦・松島【演習】 舞弓【講義】	予習：教科書を読む 復習：前回の内容をノートにまとめておく。また、グループに各発達期で生じる社会問題のレポートを課す。	各回 30分	
テキスト	1) 服部祥子著：生涯人間発達論第3版 医学書院 2020				
参考書	1) 永田雅子編著：妊娠・出産・子育てをめぐるこころのケア 別冊発達32 ミネルヴァ書房 2016 2) 青木省三著：思春期の心の臨床 金剛出版 2003 3) 日本語版作成兵庫こころのケアセンター：サイコロジカル・ファーストエイド実施の手引き第2版				
成績評価					
方法（割合）	基準				
筆記試験（90%） レポート（10%）	筆記試験（90点）の得点と、グループワークでのレポート内容・発表の得点を合計した得点を算出する。				
課題（レポート等）に対するフィードバック	第13・14回でレポート課題を発表後、フィードバックする。				

科目名 ナンバリングコード	ボランティア活動 SWS1240MN2	選択科目	1年次 1学期	講義・演習	1単位
科目責任者	文学部 助教 土井 幸治				
教育目標 到達目標	<p>教育目標</p> <p>本講義では、ボランティアに関する理論や歴史・実際についての基礎的な知識を身につけ、保健医療福祉に携わる専門職として、ボランティア観の醸成や活動の展開方法について学ぶ。また、ボランティアに関する組織や運営の実際についての理解を促す。</p> <p>到達目標</p> <p>1) ボランティアの理念・基本原則を説明できる。 2) ボランティア活動参加の意義を説明できる。 3) ボランティア活動と関連する組織および活動を説明できる。 4) ボランティア活動に必要な価値、知識、技術について説明できる。</p>				
授業計画					
授業回数	授業の内容	担当者等	準備学習(予習・復習等)	必要時間	
第1回	刈エンション・社会問題と社会的課題	土井【講義・演習】	<p>本講義では、ボランティア活動やそれを取りまく様々な事象についてディスカッション、グループワークを行います。</p> <p>したがって、履修者の皆さんには、積極的・主体的な態度で授業に参加してもらいたいと考えます。</p>	各20分以上	
第2回	現代社会におけるボランティア活動の意義	土井【講義・演習】			
第3回	ボランティア活動の理念・歴史・基本原則	土井【講義・演習】			
第4回	ボランティアの理解①	土井【講義・演習】			
第5回	ボランティアの理解②	土井【講義・演習】			
第6回	ボランティア活動の推進に関わる専門職の役割	土井【講義・演習】			
第7回	ボランティア活動の推進に関わる事業・組織・制度	土井【講義・演習】			
第8回	災害時のボランティア活動①	土井【講義・演習】			
第9回	災害時のボランティア活動②	土井【講義・演習】			
第10回	ボランティア活動の実際と展開①	土井【講義・演習】			
第11回	ボランティア活動の実際と展開②	土井【講義・演習】			
第12回	ボランティア活動の実際と展開③	土井【講義・演習】			
第13回	ボランティアの組織化とマネジメント①	土井【講義・演習】			
第14回	ボランティアの組織化とマネジメント②	土井【講義・演習】			
第15回	まとめ	土井【講義・演習】			
テキスト	特になし。必要時資料配布。				
参考書	特になし。講義中に適宜紹介する。				
成績評価					
方法(割合)	基準				
レポートの評価(60%) 受講態度(40%)	<p>到達目標の達成度をレポート課題で評価する。</p> <p>授業へ積極的に参加する姿勢、意見などの受講態度を総合的に評価する。</p>				
課題(レポート等)に対するフィードバック	必要に応じて返却し、適宜解説を加える。				